

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		令和 6 年度第 1 回ふじみ野市立図書館協議会			
開催日時		令和 6 年 6 月 2 4 日（月） 開会時刻 午前 1 0 時 0 0 分 閉会時刻 午前 1 1 時 2 0 分			
開催場所		市役所第 2 庁舎 B 3 0 1 会議室			
出席した者の氏名		役職名	氏名	役職名	氏名
		委員長	小栗 俊之	事務局(文化・スポーツ振興課長)	吉村 敏世
		副委員長	斎藤 博子	事務局(上福岡西公民館長)	内田 徳子
		委員	永易 淳史	事務局(社会教育課長)	木村 裕之
		委員	小河 幸代	事務局(副課長兼係長)	小林 久美
		委員	高橋 充恵	事務局	小山 章子
		委員	高野 治子	【指定管理者】	
				上福岡図書館長	岸本 一美
				大井図書館長	本田 健二
会議の議題		1 議題 (1) 上福岡図書館大規模改修工事について (2) 令和 6 年度事業計画について (3) 第 4 期ふじみ野市立図書館サービス計画策定について (4) その他			
会議の公開又は非公開の別		公開			
会議の非公開の理由					
傍聴人の数		1 人			
会議の内容		別紙のとおり			
会議資料		別添のとおり			
事務局		教育部 社会教育課			
議事の確定	確定年月日	令和 6 年 7 月 8 日			
	記名押印又は署名	役職名 委員長 小 栗 俊 之 印			

1 開会

2 あいさつ（社会教育課長）

3 自己紹介

4 議事

(1) その他 上福岡西公民館の大規模改修工事について

【事務局】

資料を基に上福岡西公民館図書室の施設及び事業概要の説明を行った。その後、上福岡西公民館の改修工事の整備方針やスケジュール、意見徴収の方法等についての説明も行い、委員の意見を伺った。

＜説明内容＞

- ・令和6年度から設計業務に入っており、令和7年度から工事開始、令和9年度中に開館予定。近隣に住宅が建っており、慎重に工事を進める必要がある。
- ・改修後はステラ・ウェスト同様、文化施設との融合施設として整備を進める。出入口の資料持出防止ゲート、自動貸出機、IC予約棚なども設置していきたい。
- ・利用団体及び個人の方には、活動ジャンルごとに、8月9月くらいに対面またはアンケート用紙等で意見をいただく予定。

【小河委員】

ここ何年かは西公民館のホールで「大人のためのおはなし会」を行っていて、大井地区でやっていた頃よりお客さんがたくさん来てくださるようになり、去年は100名以上の方の参加がありました。会の定例会では、今年はまだ西公民館のホールが使えるのか、来年以降はどうなるのかという不安の声が出ています。休館の時期について、早い段階でわかれば他の会場を探すことができるので、早めに教えてほしいと思います。

【事務局】

休館時期については現在検討中のため、決まり次第お知らせします。

＜追加説明＞

- ・図書館協議会の委員の皆さんにも、西公民館はこういう図書館にしたい、狭いけれどもこういうものを充実したい、などというお話を聞き、12月ぐらいに基本設計をまとめたいと考えている。

【小栗委員長】

文化施設としてこれから運営していくということで、立地や客層もあるが、公民館に来た方々が寄ってくれるという状況もあるので、特性が出るような施設になると良いと思います。

(2) 上福岡図書館大規模改修工事について

【事務局】

令和6年10月の再開を予定していたが、資材の納品遅れによる工事工程の見直しがあり、開館が3か月、場合によってはもう少し延びる予定であることを説明し、各委員からの意見を伺った。

【小栗委員長】

業者の方々も図書館の皆さんも精いっぱいやっているでしょうから仕方ないですね。状況を見守りたいと思います。

【高野委員】

資材遅れは大変ですね。あとは、人手不足の問題もよく聞きます。焦らずにきれいな図書館が完成するのを待ちましょう。

県立図書館でも、小規模な修繕を行おうとしても、なかなか業者が見つからないという問題があります。

【永易委員】

福岡中学校はA棟B棟と校舎が2つあり、今年度と来年度に工事が入っていますが、それも当初の予定よりかなり遅れてしまっています。

【斎藤委員】

あちこちを順々に改修しているのに、このような状況でたいへんだなと思います。

【小栗委員長】

利用されている方々にご理解いただけるように、絶えず情報を公開したり、お詫び、状況説明をしたりすることも必要だと思います。

【事務局】

開館日が確定したら広報でお知らせします。また、イオンタウンの臨時窓口についても、期間を延長して対応して行きます。

(3) 令和6年度事業予定について

【事務局（上福岡図書館長）】

資料を基に説明を行い、委員の意見を伺った。

【小栗委員長】

イオンタウンは仮設ですが、その逆境がいい意味で生かせたのがおはなし会ということなのでしょうか。

【事務局（上福岡図書館長）】

休館中は、おはなし会や、いろいろなイベントを開催することが難しいのですが、イオンタウンでのおはなし会は、普段図書館を利用しない方にも多く参加していただいています。今後も継続することで、図書館に行くという動機付けになるといいと思います。

【小河委員】

イオンタウンおはなし会にボランティアで参加された方が、たまたま私の仲間の中にいらして、図書館が使えない時にイオンタウンで読み聞かせができてよかったという話を聞きました。人数がすごく少ない時もあるって、ハラハラドキドキするという話もありましたが、月に1回定期的にやっていけば、図書館が使えない時でもこちらに来て小さいお子さんに本の楽しさを知らせる機会になる、いい取り組みだなと思いました。

(4) 第4期ふじみ野市立図書館サービス計画策定について

【事務局】

資料を基に策定方針、スケジュール、現計画の進捗状況の説明を行い、委員の意見を伺った。

【斎藤委員】

資料の見方について、令和6年度目標のところの数字が違うのがあって、気がついたのでもいくつかありますが、いつの時点で6年度の目標を立てたのかで違うのでしょうか。例えば、DVD点数、予約リクエスト点数、貸出点数というところの令和6年度目標というのが、資料によっては違います。

【事務局】

数値が合っていないところがあり申し訳ございません。もう一度精査し、修正します。

【永易委員】

中学生の利用について、コロナが5月に5類に移行し、なおかつ、その後休館に入ってしまったので、令和5年度の数値が低いのは仕方がないと思います。上福岡図書館がリニューアルしたら、例えば、中学校1年生を対象に2クラスずつぐらい見学に行かせてもらったりして、ぜひ伺いたいと思います。

子どもたちの活字離れが言われていますが、本校の生徒は朝読書の時間に本を読んでいます。全部調査したわけではないですが、大人のほうが活字離れではないかという気がします。やはり読書環境を整えることは、大人の側の行政や教育関係がやるべきことであり、あるのに読まないわけではなくて、まずある状態にしてあげたいなと思います。すぐ近くに図書館があるので、本来、下校時は寄り道してはいけないけれども、本を借りるだけなら良いなど、そういうことも含めて検討して行く必要があります。本を読める環境にしてあげることが、子どもたちのため、ひいては教育のために繋がるのかなと思います。

【事務局】

中学校では朝読をしていたいただいているので、本を読む習慣がついているかと思いますが、学校図書館を通じた団体貸出など、図書館の活用について、中学校にお話を聞きながら、どのような連携ができるか相談をさせていただきたいと思います。

【永易委員】

学校の図書予算は限られていて、課題図書も毎年購入するため、子どもたちの好むライトノベルなどをあまり充実させられないので、図書館でカードを作って利用方法を覚えて利用してもらいたいと思います。

【事務局】

資料を基に国・県・他市の計画策定概要の説明を行い、委員の意見を伺った。

【高野委員】

基本構想のうち、肝になるのは、結果を皆さんにお伝えすることが難しい部分になります。例えば貸出冊数だと、何パーセント伸びたとか数値として表すことができますが、県民同士の繋がりを育み、県民の学び合いを支援する機能というのは、単年度では実績を表すことが難しく、長期的に見ていかなければいけないところにポイントが置かれています。

もうひとつの非来館型のサービスについて、県立図書館はサービスエリアが非常に広いので、来館をしていただくことが難しい方が大勢います。その点が今、基本構想の中でもポイントとなっています。

交流については、前の計画では全く使われていなかった、例えばウェブによる

交流機会ということで、研修や講座もウェブで参加をしていただくというのが、コロナ前には全くなかったかと思います。そういったものを取り入れ、実際その場に参加していただくだけではなく、録画したものをオンデマンド機能で後から見ていただくという取り組みを始めたところである。逆に、コロナが終わったということで、今までできていなかった講座とか研修会で、実際に現場で交流をしていただくことの価値も、かなり参加された方の満足度などからも図ることができます。今後、交流と価値創造を図っていくことがポイントだと思っています。

【事務局】

確かに結果を数値化していくこと、どうやって測っていったらいいのか、非常に難しいと思います。ただ、こういう視点を持って図書館運営をしていくことは重要だと思いますので、他市の計画や県の方のお知恵もいただきながら、評価を進めていきます。また、非来館型サービスは、デジタル化が進んだ中で、図書館の取り組みとして電子図書館の導入はしましたが、オンラインでの講座の実施は少なかったように思います。ただ、図書館になかなか来られないという方もいるので、そういったところも含め検討していきたいと思っています。

【高橋委員】

絵本の読み聞かせについて、ある小学校ではコロナ禍でオンラインの取り組みをされたと聞きましたが、どちらかという残念な結果だったということでした。やはり、実際に子どもと目を合わせながら読み聞かせを行うということを大事にしていきたい事業だと思いました。

【小栗委員長】

多分それがわかればいいのだと思います。対面の良さというのを再認識することができたので、その部分を大切に、対面で読み聞かせをしていく、伝えていくことができると、読み聞かせの意味や目的がわかると思います。

【小河委員】

私たちも年を取って、図書館に行くのが大変という方が非常に多い時代になっているなと感じます。視覚障害者の方々への郵送サービスがありますが、お年寄りからの要望があった場合、郵送というサービスができたら良いと思いました。デジタル図書は、お年寄りにはできる方もいると思いますが、できない方が多いと思われるので、そういうサービスも考えられたらいいのではないのでしょうか。

地域文庫でも、大人向けの本を少し置いてみたことがありますが、やはりほとんどの本が子ども向けなので、利用が続きません。障害者ではないけれど、図

書館の利用に障害を持っているお年寄りのためにも、非来館型サービスをもう少しうまく活用できればと思いました。

【事務局（上福岡図書館長）】

図書の郵送サービスや、障害のある方や図書館に来られない方に図書館のスタッフがお届けするというサービスをやっています。継続してずっと行っているサービスで、図書館の利用案内やホームページに記載してありますが、あまり知られていないので、機会があれば広報にも載せたいと思います。

【小河委員】

お年寄り結構広報を読みますので、広報を利用なさるという手もあると思います。

【小栗委員長】

今ご意見があったように、どんな事業もプロジェクトも、やはり発信とか周知が課題で、だからこそ和光市も入間市も、杉戸町もみんな高齢者や障害者へのサービスが検討事項になっているのでしょう。具体的にこういうことをやってうまくいかなかった、うまくいったみたいな情報があると、次の策定の時の参考になるかもしれません。きっとみんな苦労されていることと思います。

他のご意見がなければ、次に移りたいと思います。

【事務局】

資料を基にアンケート調査の説明を行い、意見を伺った。

【小栗委員長】

今までやってきたことを振り返って、もっと改善した方がいい、加えた方がいいということを加味しながらこの新しいアンケートができていると思います。委員の皆さんがよろしければ、これで進めさせていただきたいと思います。

（異議なし）